

恵山の火山活動解説資料（平成 22 年 5 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴煙及び熱活動（図 2～5）

恵山の Y 火口の噴煙の高さは火口縁上 100m 以下で、噴煙活動は低調に経過しました。

27～29 日に実施した現地調査では、X 火口及び Y 火口では噴気や火口の状況に特段の変化はなく、Y 火口東壁では、引き続きやや活発な噴気活動が続いていました。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、X 火口及び Y 火口の地熱域の状況に変化は認められませんでした。

・ 地震活動（図 5、表 1）

今期間発生した火山性地震は 11 回で、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 6～7）

27～29 日に実施した GPS 繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。

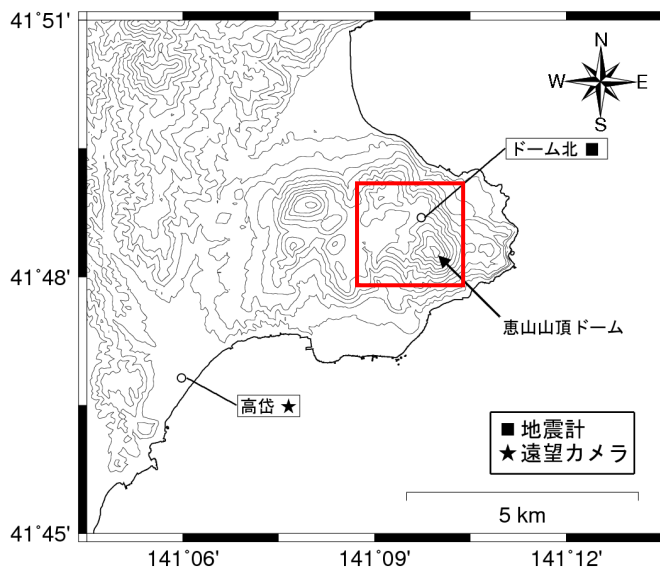


図 1 恵山 観測点配置図

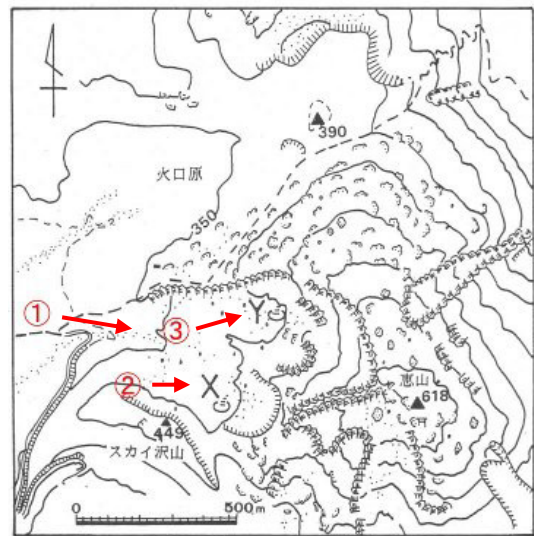


図 2 恵山 火口周辺図(図 1 の□を拡大)

¹⁾ 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 6 月分）は平成 22 年 7 月 8 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 20 業使、第 647 号）。

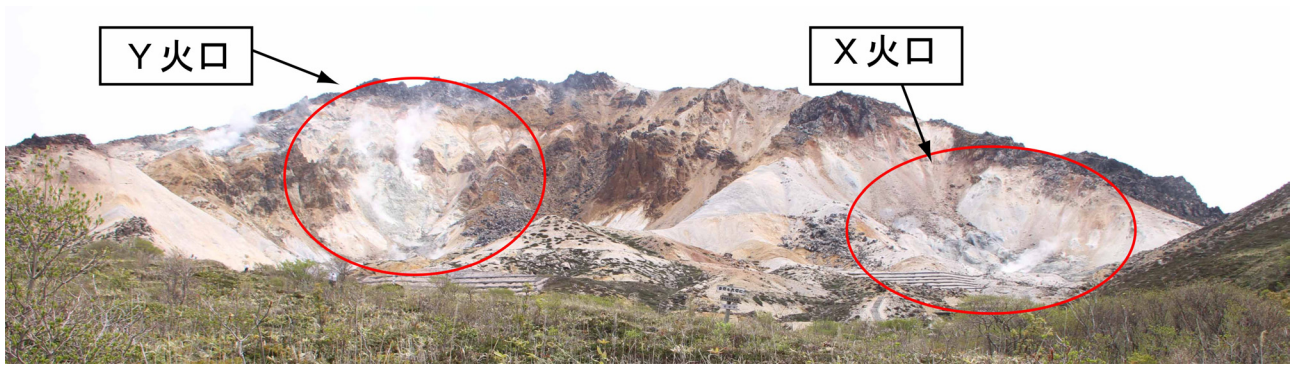


図 3 恵山 山頂ドーム全景（図 2 の①より撮影）

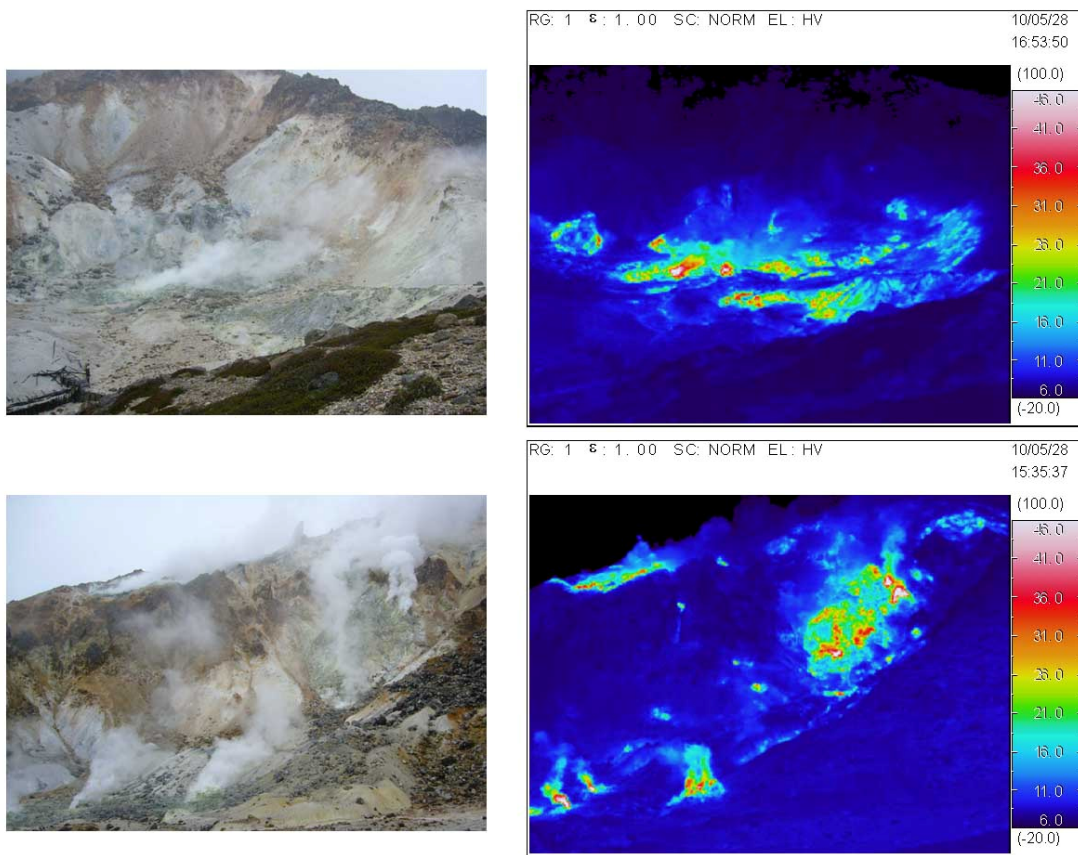


図 4 恵山 赤外熱映像装置¹⁾による X 火口及び Y 火口内の地表面温度分布（5 月 28 日撮影）
上：X 火口（図 2 の②より撮影）、下：Y 火口（図 2 の③より撮影）

- ・ Y 火口では、火口底及び火口壁の数か所で噴気活動が認められ、火口東壁ではやや活発な噴気活動が続いていました。
X 火口では火口底付近の数か所で噴気活動が続いていました。
- ・ 赤外熱映像装置による観測では、X 火口及び Y 火口の地熱域の分布に特段の変化は認められませんでした。

表 1 恵山 地震・微動の月回数（図 1 の恵山ドーム北で計数）

2009～2010 年	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
地震回数	59	37	16	*(1)	*(13)	12	21	17	26	32	30	11
微動回数	0	0	0	*(0)	*(0)	0	0	0	0	0	0	0

*恵山ドーム北は障害のため 9 月 5 日～10 月 6 日まで欠測

() は欠測を含む地震・微動回数

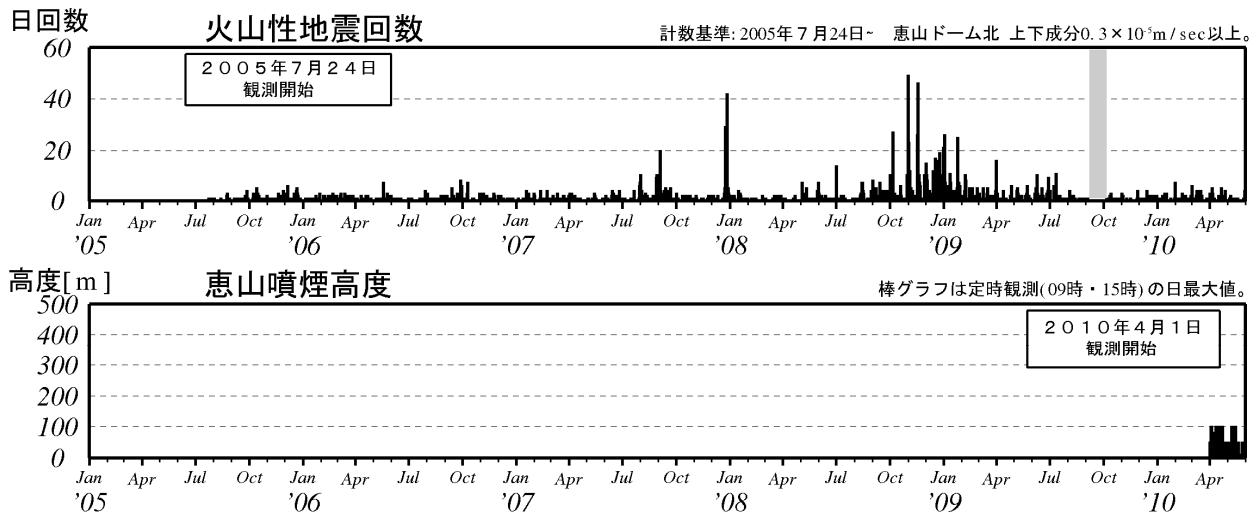


図 5 恵山 最近の火山活動経過図（2005 年 7 月～2010 年 5 月）

図の灰色の期間は欠測

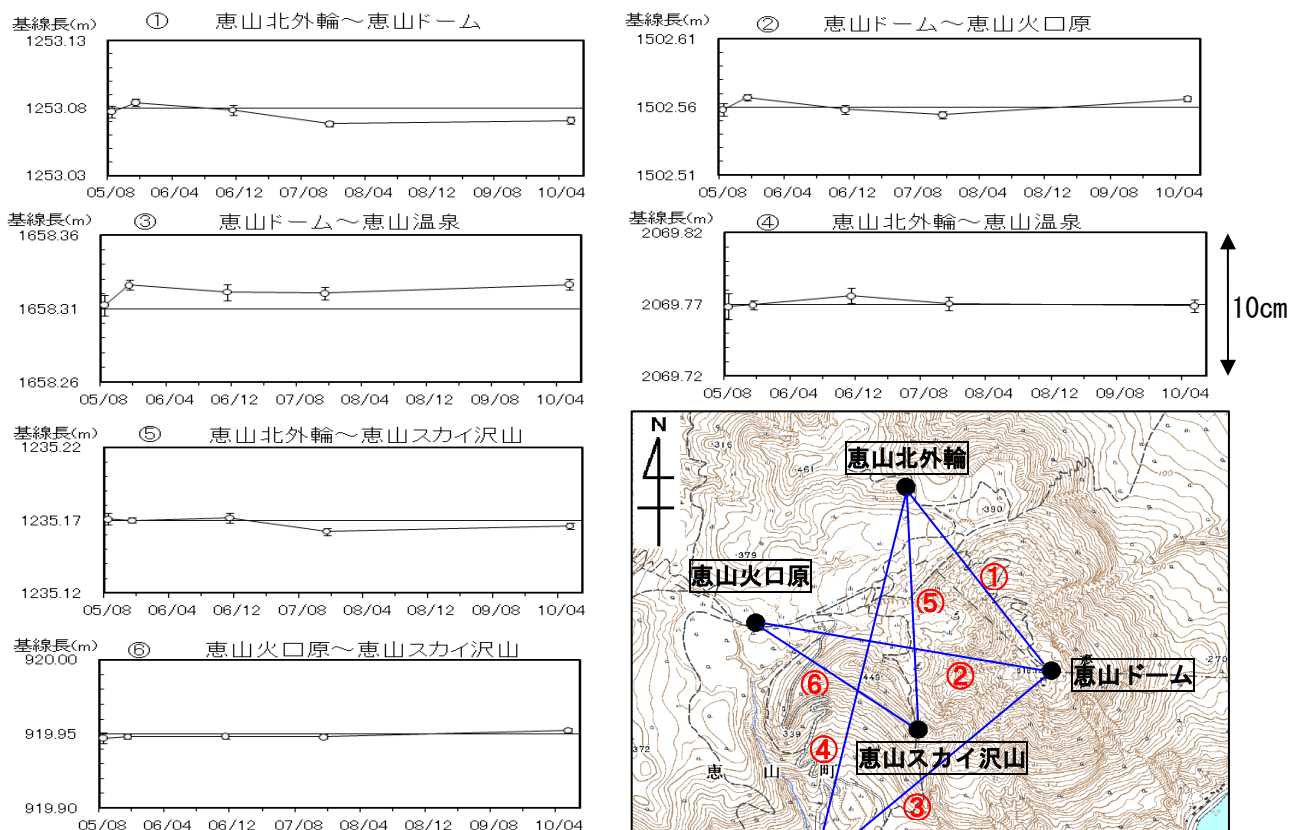


図 6 恵山 GPS 繰り返し観測による基線長変化（2005 年 8 月～2010 年 5 月）

図 6 の①～⑥は図 7 の①～⑥に対応しています。

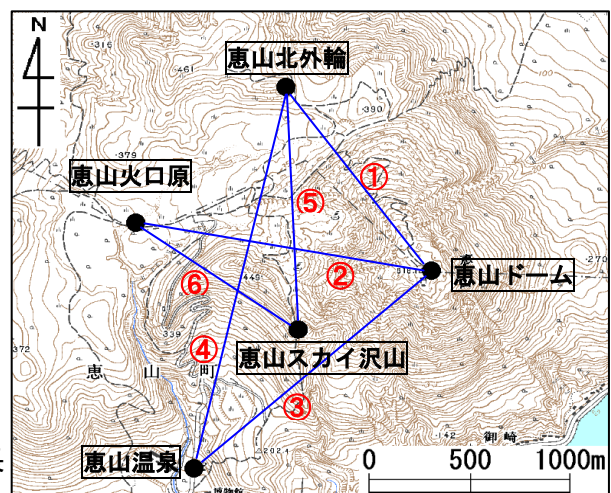


図 7 恵山 GPS 繰り返し観測点配置図

・GPS 繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。